

公表

事業所における自己評価結果

事業所名						公表日 2025年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		こどもにわかりやすいような工夫はしているが、まだ改善の余地はたくさんあると思われるので、その都度アップデートしていく。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			環境の整備はできているが、利用する児童に合わせて改善する必要がある。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		メインホールと個別スペースがあり、自由に行ったり来たりできるようになっている。こどもが自分から希望できるような体制作りを行っている。学習ルームなど、各エリアの名前を掲示することでわかりやすい環境を作っている。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3	週1回程度ミーティングを開催している。	根付いていない。毎日ミーティングをする予定をしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	5		保護者向け評価、意向の把握ができていない。今回実施をして改善できれば良いと思う。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		業務上のことを話す機会はある。職員会議やミーティングなどで意見を交わし、支援に活かしている。	仕組み化がまだ完全ではない。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		第三者からの評価を受けられていない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		計画表を用いて管理している。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	5		まだ作成できていない。今後公表予定。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	新規の児童のサービス計画や計画の変更などがあった場合は、週に1回のミーティング時に共有・確認している。	共有できていない部分があり、システム上で共有するなど改善が必要。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		できていない。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		具体的な支援内容が書けていない部分があり、漠然とした内容になっている部分がある。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		固定化しないようにと思っているが、実際は固定化になっている部分もある。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	2		組み合わせて計画を立てていない。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	出来ていない日もあるが、できない日もあることを予定して事前に行うなどの工夫をしている。	送迎等は毎日確認しているが、支援の内容や役割分担まではできていない日がある。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	終了時の打ち合わせについては行っていないが、支援開始前の時間帯に前日の振り返りを行い、改善・共有を行うようにしている。	今後実施していきたい。 終了後はできていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2		日々の記録は記入しているが、検証等にはつなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	2		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	2	予定や活動、ルールの中で自己決定訓練を取り入れるなどを行って育成を意識した支援を行っている。	今後絵カードを使用し、自己決定する力を促していく予定。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3	送迎時に学校での様子を聞いている。	送迎に関しては、保護者より依頼を受ける形が良い。 翌月分の下校時間を保護者より連絡を受けるのが望ましい。 各児童についてそれぞれ確認は行っているが、一部連携が確立されていない点もあるため、常に改善するように心がけている。 情報共有が不十分なことがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		保護者の許可を得て訪問している。 保育所等の見学を通して情報共有を行い、理解を深めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	求められた際には提供・連携できるような体制を整えている。	卒業生がまだいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	のびろに相談、助言をいただいた。	随時連携の強化を図れるようにしているが、今年度はあまりそのような機会がなかった。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		現状は交流する機会を作れていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2		事業所での様子を連絡帳にて伝えているが共通の認識を持っているかは不明である。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		情報提供を常日頃から行うようにしているが、家族の役割や研修参加機会の提供まではできていない。 家族が参加できる研修の情報を提供するなどの改善が必要。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2		支援プログラムについてはしていない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2		面談が不十分。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		現状は保護者同士の交流の機会は設けていない。 保護者の希望があれば検討していく必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	3		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	5		情報発信については、方法や機会を随時検討しており、少しずつ体制や方法を確立していく。 長期休暇時の行事予定は配布しているが、HPやSNSなどは活用できていない。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		事業所が工業団地内にあるため、なかなか地域住民との関りが持てていない。隣接している福井南特別支援学校との交流もできていないため、改善が必要。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4		マニュアルがあるのか把握できていない。家族への周知が完全ではない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		放デイでは未実施。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用開始前に面談を行い、情報を保護者に確認している。	抜けがないように常に確認しているが、随時改善するなどの業務習慣化の強化が必要と感じている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		医師の指示書は確認していない。現在対象児童はいないが、仏要性に応じて対応する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		安全計画に策定が必要。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4		安全計画に策定が必要。緊急連絡網を作成して、いつでも見れるようにしておきたい。家族への周知が完全ではない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			職員会議にて行っている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			職員会議にて行っている。虐待防止研修への参加だけでなく、毎月の職員会議の中で、実際に起きた虐待の事例の共有やセルフチェックシートの実施などを行っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			